

私の工場とCSR

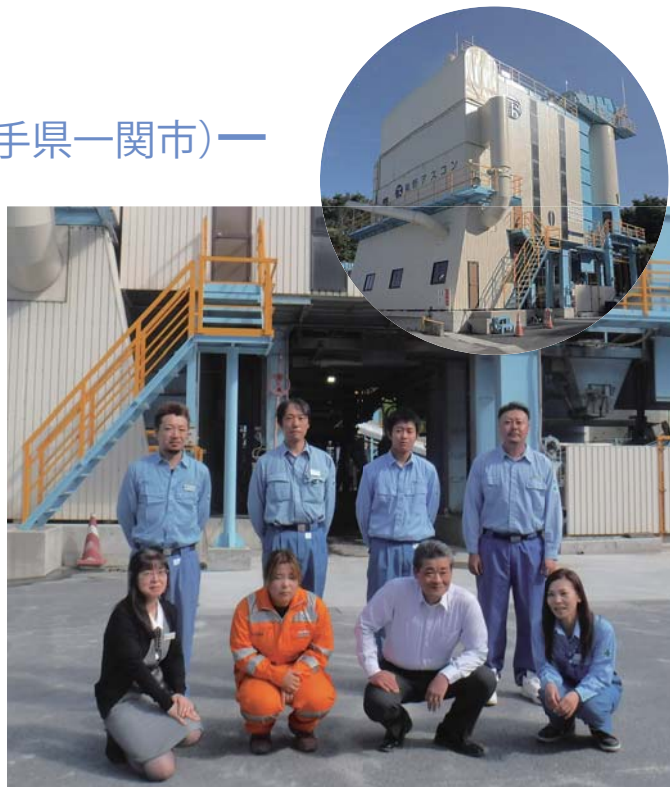
—東北支店東磐アスコン(岩手県一関市)—

東磐アスコンは、2017年にプラントの建て替えを行いました。1988年から29年間、地域に親しまれるプラントづくりを目指し、2018年度は新しいプラントと共に東磐アスコン30年ということで、今まで受け入れていただいた地域に貢献できるアスファルト合材センターを目指して環境負荷の低減を重要視し、新型の高効率バーナー(低空気比バーナー)を採用して、2016年度の燃料消費率を1.2%低減(従来プラントの88%)しました。

また場内排水についてもトヨタ工場採用されているデンソー方式を採用し、一時貯留槽と油水分離槽(四層式)を併用し、排水することで環境負荷低減を実現し、自然にも地域にも、山から時折顔を出すカモシカの親子にも優しい工場を目指します。



時々、カモシカの親子が訪れます



後列左より 三瓶敏幸、泉昌、菅原裕次郎、釜澤睦
前列左より 佐藤亜希子、白沢ゆい、石塚所長、小梨裕美

女性が活躍できる職場作り

2016年度より東磐アスコンでは女性プラントマンをはじめ重機オペレーターも女性を採用し、女性が活躍できる職場作りについて取り組んできました。

女性職員を起用したことにより職場を綺麗にしようという意識が高まり、5S活動による環境の改善、またワークライフバランスへの取り組みに対しても所属員全員が、今まで以上に真剣に考えるようになりました。男性主体の職場につきものである3Kを払拭し、意見を言い合い、休暇をとりやすく、働きやすい環境づくりを行い、そのために1人が一つの職務を受け持つわけではなく多能工を目指し、資格取得の充実を推進しています。



アスファルトプラント製造担当

◆小梨 裕美

男女分け隔てなく職場の仲間に助けられながらも明るく働きやすい職場で日々笑いが絶えません。

今後の目標は男性職員にも負けずに意欲を持って携わりたいです。

リサイクルプラント製造担当

◆白沢 ゆい

以前勤めていた職場も男性主体の職場で不便が多く不自由に感じていたのですが、現在は女性に理解のある職場で楽しみながら仕事ができています。



女性が活躍できる職場のための創意工夫

■ロゴマークは男性色(緑)・女性色(赤)をイメージして作成しました。



■高い場所にあった工具類は女性職員が取りやすいように低い位置に配置してあります。

—次世代育成の活動—

本年度、一関市立千厩高等学校より職場体験学習を経て登用しました。品質管理のノウハウを勉強して貰いながら日道マン一年生の人材育成に注力しています。

品質管理担当
菅原 裕次郎

覚えることが多く大変ですが一つずつ確実にできることを増やせるよう頑張ります。

